

虐待防止セルフチェックリストを 利用した対策について

施設・地域における障害者虐待防止チェックリスト

職員セルフチェックリスト

社会福祉法人 全国社会福祉協議会「障害者の虐待防止に関する検討委員会」平成23年3月版

年に1回、全職員を対象に実施

各施設に合ったチェック項目にしても良いと思う

どの項目とどの項目の関連性が強い
か、弱いかを指数化して分析
(Excel)



具体的に取り組むべき課題が表出

＜チェック項目＞	チェック欄
1. 利用者への対応、受答え、挨拶等は丁寧に行うよう日々、心がけている。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
2. 利用者の人格を尊重し、接し方や呼称に配慮している。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
3. 利用者への説明はわかり易い言葉で丁寧に行い、威圧的な態度、命令口調にならないようにしている。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
4. 職務上知りえた利用者の個人情報については、慎重な取扱いに留意している。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
5. 利用者の同意を事前に得ることなく、郵便物の開封、所持品の確認、見学者等の居室への立ち入り等を行わないようにしている。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
6. 利用者の意見、訴えに対し、無視や否定的な態度をとらないようにしている。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
7. 利用者を長時間待たせたりしないようにしている。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
8. 利用者の嫌がることを強要すること、また、嫌悪感を抱かせるような支援、訓練等を行わないようにしている。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
9. 危険回避のための行動上の制限が予想される事項については、事前に本人、家族に説明し同意を得るとともに、方法を検討し実施にあたっては複数の職員によるチームアプローチをとっている。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
10. 利用者に対するサービスの提供に関わる記録書類（ケース記録等）について、対応に困難が生じた事柄や不適切と思われる対応をやむを得ず行った場合等の状況も適切に記入している。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
11. ある特定の利用者に対して、ぞんざいな態度・受答えをしてしまうことがある。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
12. ある特定の職員に対して、ぞんざいな態度・受答えをしてしまうことがある。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
13. 他の職員のサービス提供や利用者への対応について問題があると感じることもある。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
14. 上司と日々のサービス提供に関わる相談を含め、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
15. 職員と日々のサービス提供に関わる相談を含め、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
16. 他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面でくわしたことがある。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
17. 他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場면을容認したこと（注意できなかったこと）がある。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
18. 最近、特に利用者へのサービス提供に関する悩みをもち続けている。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
19. 最近、特に仕事にやる気を感じないことがある。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
20. 最近、特に体調がすぐれないと感じることがある。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

<H30.6月 厚生労働省『障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き』より>

相関分析と虐待防止を取り組む方向性の明確化

	指数	突出した相関	相関内容
正の相関	1	4と15は相関がかなり強い	職員とのコミュニケーションがとりやすい雰囲気があると感じている職員は、利用者の個人情報についても慎重な取り扱いをする傾向が強い
	1	5と15は相関がかなり強い	職員とのコミュニケーションがとりやすい雰囲気があると感じている職員は、利用者の郵便物、所持品の確認、居室への立ち入りなど事前同意を得ている傾向が強い
	1	6と15は相関がかなり強い	職員とのコミュニケーションがとりやすい雰囲気があると感じている職員は、利用者に対して否定的な態度を取らない傾向が強い
	1	4と5は相関がかなり強い	利用者の個人情報を慎重に取り扱おうと留意している職員は、利用者の郵便物、所持品の確認、居室への立ち入りなど事前同意を得ている傾向が強い
	1	4と6は相関がかなり強い	利用者の個人情報を慎重に取り扱おうと留意している職員は、利用者の意見、訴えに対し無視や否定的な態度を取らないようにしている傾向が強い
	1	5と6は相関がかなり強い	利用者の郵便物、所持品の確認、居室への立ち入りなど事前同意を得ている職員は、利用者の意見、訴えに対し無視や否定的な態度をとらない傾向が強い

相関係数から見えてくる対策



- 課題① 職員間のコミュニケーションをとりやすくする
- 課題② 利用者の個人情報を慎重に取り扱う（意識をもつ）
- 課題③ 利用者に事前同意をもらう事項を増やす



職員個別にするのではなく、
施設全体で具体的な対策を練り、
施設全体で実施していく

まとめ

- 虐待防止チェックリスト項目からもわかるように、危険因子は何気ない日常業務の中に潜んでいる
 - ↓
 - 虐待は日常的で些細な権利侵害から派生する
 - ↓
 - 個人の対応だけでは限界があり、職場環境やシステムの改善、構築が必要
- 今回の事例だと、例えば・・・
 - 課題① 職員のコミュニケーションを取りやすくする
 - ヨコとタテの情報共有、課題共有、こまめで定期的カンファレンス
 - 課題② 利用者の個人情報を慎重に取り扱う
 - 「個人をリスペクト」する取組みとして、個人情報保護法、ダイバーシティ、ICF、個別支援計画等の理念や考え方をういて、個人もしくは個人情報の重みを認識、意識できるような取組み
 - 課題③ 利用者の対応について、事前同意を予め得る事項を増やし、ルーティン化する取組み
 - 利用者や家族に理解と同意をもらうインフォームドコンセントの徹底、文書による同意形成と定期的な更新
- その他の対策
 - ・ 今回の「行動宣言」に提唱されている、第三者評価の受審、ボランティアの参画や地域交流、利用者やその家族への対応、改善・是正 苦情解決事業の着実な実施
 - ・ 虐待防止委員会の設置、アンガーマネジメント、CVPPP（包括的暴力防止プログラム）の導入
 - ・ 人権侵害や虐待をリスクと捉えたりスクマネジメント・・・・・・・・

※CVPPP（包括的暴力防止プログラム）

主に精神科医療の領域で使われているが、近年他領域でも用いられてきている。病状により不穏な状態にあるクライアントの気持ちに寄り添い、尊厳と安全を守りながら必要な医療や支援を提供するためのプログラム。

EX.【新任職員研修】現場における暴力を正しく認識し、ケアに繋がられるように、暴力防止に関する基本的な理論と、緊急時の対処について年に2回、実践を交えて集合研修を開催。参加者からの感想では「過度な緊張や不安が改善された」「暴力について相手の思いを汲み、支援する事に前向きに取り組めるようになった」等と多くの意見。【つらい思いへの支援】暴力による怖い思いは当事者のみならず関係者もつらい体験として残るため、出来事の振り返りを通じて、被害を受けた人が建設的な振り返りができるよう、心理的サポートや危険予知トレーニングを行う。